

平成29年度第一回根室市市政モニター会議【記録】

1. 日 時 平成29年8月29日（火）午後6時30分～午後8時00分
2. 場 所 根室市役所 3階 大会議室
3. 出席者 【市政モニター】 10名

【市 側】 9名

市長、総務部長、総務課長、広報広聴主査、広報広聴担当
総合政策室長、情報管理課長、市民環境課長、公民館館長

4. 開会挨拶（市長）

本日は、平成29年度、第一回市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、市政の推進に対しまして、格別なるご理解とご協力をいただいておりますことに対し、この場を借りてお礼申し上げます。

この会議は、広く市民皆様のご意見やご提言をいただくため、毎年開催しているもので、本年度は14名の方々をモニターとして委嘱させていただきました。今年度末までの委嘱期間内、数回の市政モニター会議の開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。

さて、今回の市政モニター会議では、「行政情報の発信力強化」と「地域コミュニティの活性化」の2つをテーマとして設定させていただきました。こちらのテーマは昨年度の市政モニター会議でも、市の重要な取り組みとしてとして、しっかりと取り組んでほしい旨、提言をいただいたところであり、本年度は、モニターの皆さんに、更に掘り下げた議論をしていただきたいと思いますと考えております。

日本全体が本格的な人口減少時代を迎え、我がまち根室におきましても、少子高齢化が進み、地域社会において、さまざまな課題が生じているところであります。また、ロシア200海里内の流し網漁禁止に伴う地域経済の疲弊や北方領土問題など様々な課題が山積しておりますが、こうした困難に直面する今だからこそ、市民と行政がともに考え、協力して、まちづくりを進めていくことが重要であります。

本会議は、まちづくりの主役である市民の皆さんの声を市政に反映することが目的であります。出された意見・提言等につきましては、今後の市政運営の参考とさせていただきますので、モニターの皆様には、是非とも忌憚のないご意見・ご提言をいただきますよう、お願い申し上げます。開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

（※市長は挨拶後退席）

5. 平成29年度「根室市市政モニター会議」の開催方法について（広報広聴主査）

6. 説明（総合政策室長、市民環境課長、公民館館長）

7. 質疑応答

特になし

8. 以下、会議詳細

○広報広聴主査

今回は「行政情報の発信力強化」と「地域コミュニティの活性化」をテーマに設定させていただいた。自分は中立的な進行役を務めさせていただくので、会議ではモニター同士で活発な意見交換をお願いしたい。

今年度の市政モニター会議は全部で4回の開催を予定している。一回目の今回は意見、提言、アイデアをとにかく出していただきたい。次回（2回目）の会議でも意見を出していただき、途中からからまとめを始めて3回目の会議で提言書としてまとめていきたいと考えている。

それでは、どちらのテーマでも良いので、市での取り組みに対して、意見やアイデアなどがあれば出していただきたい

◎モニター（A）

事前にテーマをみて、インターネットなどで色々な都市や町の情報発信の取り組みを見てみたが、大体、どこも一緒である。提言として意見を出すことは、なかなか難しいと感じている。

逆に先ほど説明いただいたもの以外で、市として考えている情報発信媒体はないのか。

○広報広聴主査

できれば行政の目線ではなく、市民の目線を見て、「こういうことをしてみたらどうか」という意見を頂きたいと考えている。

○モニター（B）

そもそも行政情報の発信力強化が必要だと思っているということは、先ほど説明のあった媒体では不完全だという考えがあるからだと思う。現状の問題点がわからないのに漠然と何をしたいのかと言われても難しい。市として何が課題でそれをどう解決したいのかを話し合ったほうが良いのではないか。市として情報発信は不完全で足りていないという課題を抱えているならば、その課題は何なのかということを確認させていただきたい。

○広報広聴主査

現在、市では色々な媒体を使って情報発信を行っているが、情報に溢れたこの世の中で、タイミングよく、わかりやすく、魅力ある情報を発信しなければ市の情報がスルーされる場面が多いと感じている。

市としても全世帯に広報紙を配っているが、それだけではなく SNS、ホームページなど色々な媒体を使って皆さんにスルーされない、関心を持ってもらえる情報を発信しているつもりでいるが、市民からは、もっと行政情報を発信して欲しいという意見が出ている状況である。

◎モニター（B）

市民から行政情報が足りていないという意見があるのであれば、具体的にどういった情報が足りていないのか。

○広報広聴主査

地域コミュニティの部分にも関係してくると思うが、例えば広報紙では、地域の情報をもっと出してほしいといった意見をいただいている。また、実際イベントなどをやった後にフェイスブックでイベントをやったという情報を発信することがあるが、それならやる前にもっと事前の周知をしっかりとやってほしいといった意見もある。色々な広報媒体があっても、全ての情報を載せられるわけではない。

○モニター（C）

自分は、ホームページやSNS、ねむろメールといったものを見たことがない。見たことがないのでどういえばいいかわからないが、なんとなく堅いイメージがある。砕けすぎてもいけないと思うが、もっとわかりやすく情報を伝えてほしいと思う。ここにいる人が見たことがないのであれば、ほかにも見ていない市民の方はたくさんいると思う。もうちょっと自分が見たくなるものを発信していただければと思った。

広報紙はだまっても自然と来るから見たことがあるが、電子媒体というのは自分で行かないと、見ようと思わないと見ることができない。

○広報広聴主査

皆さんが普段、生活しているなかで感じるものがあれば、まずその課題を出していただきたい。その上で、「その問題を解決するためにはこうしたやり方がある。」といった議論をしたいと考えている。実際に皆さんは、行政情報について足りていると思うか、足りていないと思うか、どのように感じているか。その辺の意見をいただきたい。

◎モニター（C）

個人個人が関わっているところによって足りない部分、足りている部分があると思うので、ここにいる全員が一概に足りている。足りてない。とは言えないと思う。

◎モニター（B）

市として課題を既に持ってこのテーマを設定したとっていたが、今回は課題を発掘からやるということなのか。

○広報広聴主査

市民の目線を見て、どのような課題が見えるのかというのを出していただき、議論したいと考えている。

◎モニター（B）

そういうことであれば、電子媒体を使って情報を見ている人が少なかったというのがひとつの課題である。根室市はフェイスブックやねむろメールといった媒体を、お金をかけて提供しているにもかかわらず、結局活用できていないというのが一つの課題として挙げられると思う。

また、広報紙の地域の情報が足りていないという意見だが、広報紙に載せるのは無理だが、例えばフェイスブックなどほかの媒体での補足も考えられる。そこが足りてないと指摘を受けているということはその部分は課題である。

○広報広聴主査

今「電子媒体を十分に活用できていない」、「地域情報の発信が不足している」という課題を挙げていただいた。地域情報の発信については、SNSを使って補足できるといった意見でよいか。

◎モニター（B）

というよりは、地域情報が足りていないという意見が市にあがってきている。そういうことであれば、その情報が足りていない人に対して情報がどう届くのか考えて、どの媒体を選択して、どのように情報発信をするのかを考えるべきであるが、今はそれができていない。そのことが課題なのではないか。

◎モニター（D）

当然といえば当然であるが、電子媒体は自分で見ようとしなければ見ない。高齢化が進む中、電子媒体にまったく縁がない人もいる。電子媒体は電子媒体で進めなければいけないと思うが、電子媒体を使えない人に対し、どうアピールしていくかが重要ではないか。

○広報広聴主査

電子媒体以外の広報媒体としては、広報ねむろを全世帯に配布しているところであるが、広報紙以外にもこうすれば、もっと高齢者に情報を届けられるといった意見があれば伺いたい。

◎モニター（C）

防災無線なら高齢者も聞いている。情報を「読む」のであれば、自分で理解しなければわからないが、毎日のように流れているものを「聞く」のであれば、癖になるのではないかと、そうしたやさしく、わかりやすい方法を取り入れてはどうか。

現在も、防災無線で情報を流していると思うが、一日に一回か？

○広報広聴主査

毎週金曜日に一回行っている。放送内容については、30秒程度の簡単な内容のもで、一カ月に一度内容の見直しを行っている。

◎モニター（C）

インターネットやフェイスブックで情報を発信しているといっても、その人が情報を受け入れようとしなければ入ってこない。日頃からたびたび聞いていることは案外覚えているもので、耳から入ってきた方が受入れやすいのではないかと。以前は毎日放送していたと思っていたが・・・。

○総務課長

以前から週に一回の放送である。防災無線が正常に作動するかどうかの確認も含めて、毎週金曜日に簡単な情報を流している。確かに、情報は耳からのほうが入りやすいということは理解できる。市としてもFMラジオを使って行政情報の発信をしているところであるが、それをどれだけの人が聞いているかなど、市としても課題として感じているところである。

防災無線を情報発信手段として使うということについては、いざというとき意識の低下にもつながることも懸念されることから、運用に当たっては十分注意して行う必要がある。

◎モニター（E）

ポスターでサンマ祭りやかに祭りの宣伝をしているが、そうしたポスターは目を引き、色々な情報が入ってくると思う。硬すぎると目につかない部分もあると思うので、ある程度ポップな形で目を引くポスターなどを飲食店などに貼ってもらえば、買い物の際や、食事の際に自然と目に入るのではないかな。

◎モニター（F）

広報ねむろの内容を補足するような一枚程度の別紙を広報と別に出してはどうか。広報ねむろの場合、一冊全部は細かく見なる人は少ないかもしれないが、多くの方が毎月来るのでとりあえずは目を通す。詳しく載せられなかったものや、掲載できなかった情報をダイジェスト版のように月一回程度補足的に配信してはどうか。

○広報広聴主査

今意見が出た広報ねむろのダイジェスト版のようなものを出すとして、市民の皆さんにどのように伝えいくのがよいだろうか。

◎モニター（F）

講演会やコンサートなどの開催情報などを、用紙一枚程度のものでよいので、広報ねむろの半月後にでも、届くと良いと思う。一カ月に一回の広報ねむろだと忘れてしまうかもしれないが、半月に一回来ると思いだしたり、気づいたりすることがあるのではないかな。

◎モニター（A）

広報ねむろについては、毎月同じような構成となっているが、高齢者向けに、文字を大きくして読みやすくすとか、構成自体を大きく変えてみるとか、地域コミュニティに関するコーナーを作るだとか、広報ねむろ自体を変えてみるというのも一つの手段だと思う。高齢者は勿論、多くの人が見えて一番発信力があると思う。

◎モニター（G）

自分たちの年代ならほとんどが全部読んでいると思う。結構詳しく色々な部門が書いてあるので広報ねむろを楽しみにしている。ひとつ言いたいことは、根室市民は郷土愛がないと思う。悪く言えば自分が得しないことはやらないという人が多いと思う。行政は一生懸命やっていると思うが市民がついてきてくれない。広報ねむろにしても色々な情報が詳しく書いている。十分に情報は発信していると思うが市民に関心がないように感じる。

◎モニター（B）

そもそも、これだけ情報発信する媒体がある。もしかしたら、これで十分な可能性だってある。例えばアンケートなどを取って、その結果、「こうした情報が欲しい。」とか、「こうした発信の仕方をしてほしい。」といった意見が出てきているのであれば、それに対する対策をする必要があるかもしれないが、何もないのであれば、対策は必要ないのかもしれない。それであれば、そこにコストをかける必要はない。むしろ無駄なものがあるかもしれない。ということは、何の媒体で、どういう人に、どのようにリーチしていくかが重要だと思う。誰に対して、何の情報を、どの媒体で発信したいのかということがリンクしていないと、でたらめな情報発信になってしまう恐れがあるので、まずは情報の精査が必要だと思う。

今の段階で、テーブルに上がっていないものを形作ろうとしても難しい。まず課題は何なのかを明確にしなければいけない。その課題は、根室市民が持っている課題であって、ここにいる人たちだけの課題ではないはずである。そういうことであれば、まずはアンケートなりなんなりで課題を発掘して、その課題に対して、どのように問題解決をするかというプロセスを踏まないと、こうやって集まっても、モヤっとしたまま終わってしまうのではないかな。

○広報広聴主査

次回の会議もあるので一つ目のテーマ「行政情報の発信力強化」についてはここで切らせていただき、また次回の会議までに思うことがあれば考えておいていただきたい。

続いて、二つ目のテーマの「地域コミュニティの活性化」について考えていきたい。町会活動に携わっている方もいると思うが、そうした身近なことで構わないのでなにかご意見等はないか。

◎モニター（H）

町会の加入率が下がった要因はなぜか。

○市民環境課長

よく言われているのが人と人との繋がり希薄化というものがある。独身、単身転入、アパート、集合住宅に住んでいる人はなかなか町会の方が加入を勧めても町会に加入しない方々が増えている。

◎モニター（H）

色々な町会があるが一緒になったりするのかな。

○市民環境課長

長い歴史の中では二つの町会が一つになったり、逆に大きくなった町会を分けたりもしたこともある。今は町会を統合する、もしくは町会の活動が停滞し、町会自体がなくなるなど、町会の数は減少の傾向にある。

◎モニター（C）

全国的にも町会の加入率は下がっているのかな。

○市民環境課長

数制的なものは現在、持ち合わせていないが、一般的に言われているのは、全国的にも人との繋がり希薄化や単身世帯が増えたことにより、町会に関心を示さない、加入しないという人は増えているという情報はあつる。

◎モニター（C）

実は私は町会に入つていない。なぜ入つていないのかとつると、隣の住人が町会の班長で、引越したときに「入るだろ」と言われたので「はい」と答えたが、それから何も言つてこない。それから現在まで町会に入らないままになつている。町会においてはその辺を、もう少し声かけした方がいゝのではないか。

広報紙やごみ袋も町会に入つていないから来ない。そんなに不便は感じていないが、住んでいる場所が低いため大雨の際などはよく避難勧告が出る。以前の大雨のときは、逃げる道路全てに水が来て、逃げ場所がなつた。そのときに、町会には属していなかつたが、普段から隣の家の人と繋がりがあつたことから、互いに助け合うことができた。そういうときには、やはり町会などのコミュニティに属した方がいゝのではないかと思ふ。

◎モニター（I）

高齢者の方が増えており、地域の中で疎遠になつている人も増えてきていると思ふ。そういう状況でそうした高齢者の方々をどう支えていくかを考えたときに、やはり市だけでは無理だと思ふし、町会レベルがいゝのか近所レベルがいゝのか、難しいところだとは思ふが、やはり、最終的には個人レベルになつてくると思ふ。

個人の中でも隣の人が嫌いとか、難しい面も現実的にはあると思ふので、市の方にお願ひできるのであれば、コミュニティを作れるような出前講座を実施したり、各町会や、ボランティアの団体に声をかけたりして、コミュニティ、人との繋がりについての講演や研修会などを実施していただきたい。

高齢者の孤独死があるのも事実であり、それを発見するのも難しいかもしれないが、声かけるかかけないかでそれは大きく違つてくると思ふ。広報ねむろも手段の一つかもしれない。そういうものも使いながら、地域コミュニティを強くする取り組みを進めていただきたい。

○モニター（B）

自分は東京から移住して、今は川口に住んでおり、今日も川口町会を代表して来ている。東京では町会がほとんど機能しておらず、誘われることもなく自分がどこの町会に属しているかすらわからないのが現状だ。ここだと隣の方から色々な情報が入ってくる。外から入つてきた人間からしてみるとコミュニティがその地域に存在して、ちゃんとしたコミュニティが残つているという印象を受ける。いきなり移住してきても周りの人とすぐに知り合いになる。そうすると人と繋がり、さらにその先に繋がつていく。そういう土台があるということをしつかりアピールして加入に結びつけるといった取り組みが必要だと思ふ。

町会がどういふものかわからないから、入らないということもあると思ふ。本当はもっとハードルが低いものだけど、壁を作つてしまうようなところもあるので、そういうものを取り払うことが必要だと思ふ。

○総務部長

地域コミュニティの出発点は、近所づきあいからだと思う。自分の家の近所でも両隣の家とは交流があるが、最近引っ越ししてきた2軒両端の人は、全然近所づきあいもなく、いるかいないかもわからない。ただ、その付き合いが深まれば、なんとなく自然に町会にも入るという状況になるのではないかと考えている。

災害時の助け合いなどでも、地域コミュニティはとても大事である。まず近所付き合いがスタートで、それが大きくなって町会になって、コミュニティになると思う。

◎モニター（C）

そういうことに関して啓蒙活動などはしているのか。

○市民環境課長

主体的に市が先導した取り組みはしていない。

◎モニター（A）

そうした取り組みは各町会が行うのが本来だと思う。うちは花園町だが、高齢者が多い町会である。花園町会は、年間を通して結構行事が多い。本当は子供も来てほしいが、実際に来るのは、高齢者ばかりで、若い人はほとんど集まらない状況である。

向こう三軒両隣には声を掛け合っていこうというテーマを持っており、団結力のある町会ではないかと自負しているが、やはり、アパートに入ってくる若い人は、会長、副会長が勧誘しても入らない。町会に入ることによって広報ねむろやごみ袋なども手に入るし、色々な利点がある。そういったメリットを、それぞれの町会がアピールしながら、勧誘していくしかないと思う。先ほど意見の出た市による出前講座などが年間に何回かあればとよいと思うが、市の方も大変だと思うので、各町会に新規会員の勧誘について、率先してやってほしいと、市から言っていくしかないのではないか。

○モニター（B）

町会連合会の会議などでは加入率が減っていることについて話したりはしているのか。

○市民環境課長

年に一回、町会連合会の総会がある。その中で加入率の低下の問題については、意見としては出ている。町会連合会では、町会未加入の方へ加入を呼びかけるため、町会では、防災活動をする、美化活動をする、福祉活動をする、地域の交流会をやる、広報紙なども配布するといった町会の活動について説明が書いてあるパンフレットを作っている。このパンフレットを各町会に渡し、町会の役員の方が未加入世帯に行って勧誘をしている状況だと思う。そういう面での支援はしているが、市や町会連合会が直接、未加入世帯の勧誘というところまではできない。各町会にお願いをしているところである。

◎モニター（B）

根室市としてはコミュニティの低下を招いているという意識はあるが、町会連合会としては加入率の低下に対し、危機感を持っているかどうかは具体的にはわからないとするのであれば、町会連合会に対し、そうした課題があるということを市として提言したりはできないのか。市と町会連合会は別組織で繋がりはしないのか。

○市民環境課長

繋がりはある。町会連合会としても、加入率の低下を懸念しており、こうしたパンフレットを作って各町会に配布するといった取り組みを行っており、危機感を持っている。

◎モニター（C）

危機感を持っているといいながらも、先ほども言ったとおり、自分は町会に入っているのに、勧誘に来ない。そうしたパンフレットも見ることがない。

○市民環境課長

町会連合会から各町会には配っているが、各町会が未加入世帯に配るかどうかはそれぞれの町会の考えである。

◎モニター（D）

他の市町村から転入してきた人が、市役所で転入手続きをするときなどにそのパンフレットを渡したりはしているのか。

○市民環境課長

転入手続きの際は、今のパンフレットとは別のパンフレットを窓口で渡している。

◎モニター（B）

そのパンフレットには、町会に入るには、どの人に連絡すればよいのか、連絡先などは書いているのか。もらったまま誰に連絡していいかわからないという状態になっていないか。

○市民環境課長

連絡先として町会連合会と市の窓口（市民環境課）この二カ所を案内している。

◎モニター（D）

個人情報などの問題もあり現実的には難しいかも知れないが、例えば市と町会連合会と連携して、転入者用パンフレットに各町会の会長さんの名前と電話番号を載せるなどすればだいぶ違うのではないか。

○市民環境課長

町会が113もあるため、それを一覧にするだけで結構なボリュームになる。ただ、その方法が良いのか、また何か別の方法があるのか検討してみたいと思う。

○モニター（H）

加入率だけがあがればよいというものでもないと思う。小さい町会であれば、ほとんど全ての世帯が町会に加入していると思うが、実動として本当に出てくるのは、世帯の一部の特に高齢の方というのが現実だと思う。そういうことがどんどん進んでいくと、加入はしているが、町会としての運営や動きが崩れてしまっていくのではないかという懸念がある。加入率以前に、町会としても若い方から年配の方まで楽しめるものをつくり、皆で町会活動を盛り上げていける何かがあればいいと思う。

○モニター（G）

やはり、高齢者が前面に出るのではなく、若い人が前に出て盛り上げていくべきだと思う。

○モニター（A）

町会の活動は、夜ばかりやるわけではない。日中もやるから、働いている人が来ることができない。そうすると、仕事してない高齢者ばかりという現状もある。だからあくまでも町会一人ひとりの人間の考え方だと思う。若い人でも出て参加している人もいる。

◎モニター（J）

先ほどのパンフレットはどこが作っているのか。

○市民環境課長

未加入者用のパンフレットは町会連合会が、転入者用のパンフレットは市が作っている。

◎モニター（J）

私は見たことはないが、そういうものに魅力がないと入る気持ちにもならないのかなと思う。

◎モニター（A）

先ほど意見が出たが、市役所の窓口で転入者に町会役員の連絡先などを渡してもらえると、転入者の勧誘には一番いいと思う。

◎モニター（G）

プライバシーの関係で、電話番号はもちろん、町会で地図を作っても名前乗せないでほしいといった話もあり、難しい問題である。

◎モニター（H）

例えば昔だったら地域の高齢者が小学生に普通に声を掛けていたが、今ではでは不審者情報が流れる時代。そういう時代だからどうしようもないのかもしれないが、それが当たり前になるとコミュニティもどんどん希薄になっていってしまうと感じている。

◎モニター（A）

今回話をしてみて、いくらか会議の流れが理解できたと思うので、それぞれで一度持ち帰り、次の会議の際に、意見を発表するということにしてはどうか。

○広報広聴主査

本日の会議ではいくつか具体的な提言を頂いたと思う。本日出た意見を事務局の方でまとめ、事前にモニターの皆さんにお示しさせていただきたい。それを参考に次回までに少し意見を考えてきていただいて次回の会議の時に発表していただきたい。

8. 閉 会